

令和 2 年度 看護師職能委員会領域Ⅱ リモート研修に関する調査結果

I. 目的

介護・福祉関係施設・在宅領域（領域Ⅱ）における研修会は、看護職の配置人数の少なから集合型研修への参加が難しい状況があること、領域Ⅱの看護職間での交流のニーズがあることを踏まえ、ここ数年、希望のあった施設・地域での出前研修を実施してきた。しかし、新型コロナウイルス感染症対策が求められる中、今後、領域Ⅱの看護職が集合型研修や出前研修に参加することの難しさが予想される。そこで、領域Ⅱの施設に対し、リモート研修の実施可能性を探るべく、リモート研修に関する実態調査を実施した。

II. 方法

1. 調査対象：山梨県内の介護保険施設、居宅介護支援事業所、通所介護施設、通所リハビリテーション施設の領域Ⅱに該当する 184 施設。（ただし、訪問看護ステーションは同内容の別調査を実施しているため除いた。）
2. 調査期間：令和 2 年 12 月 22 日～令和 3 年 1 月 15 日
3. 調査方法：調査票を FAX にて看護管理者宛に送付し、FAX による回答を求めた。
4. 調査内容：調査用紙（別紙 1）参照

III. 結果

50 施設より回答が得られた（回収率 27%）。結果の詳細は別紙 2 参照

IV. まとめ

回答があった施設の 8 割以上が介護保険施設であり、ある程度の施設規模および看護職員数が確保されている施設の研修に対する関心の高さが窺える。本結果から、7 割以上がリモート研修への参加意思を示しており、インターネット環境・PC・研修を受講できる場所の確保は 9 割以上が「あり」との回答であった。これらを踏まえ、看護師職能委員会領域Ⅱでは、令和 3 年度はリモート研修を企画する方針である。

領域Ⅱの看護職は、常時医師がいない環境で、対象者の生活を維持するために常に適切な判断をしていくことが求められている。また、領域Ⅱの看護職間での相互交流に対するニーズも聞かれている。したがって、リモート研修企画にあたっては、これらの点を踏まえた企画を検討していく。

リモート研修に関する実態調査

施設名： _____ 担当者名： _____

I. 貴施設について、以下の該当する番号に○をつけてください。

1. 介護老人保健施設 2 介護老人福祉施設 3. 訪問看護ステーション 4. その他

II. 看護職員数（非常勤含む）について、以下の（ ）内にお書きください。

（ ） 人

III. リモート研修があった場合、貴施設のお考えについて以下の該当する番号に○をつけてください。

1. 参加したい 2. 参加したいが環境が整わない 3. その他

IV. 以下に示したリモート研修環境について、貴施設の状況で該当するものに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|---|---|--------|
| 1. インターネット環境 | 有 | 無 | 今後導入予定 |
| 2. Wi-Fi 環境 | 有 | 無 | 今後導入予定 |
| 3. パソコン・タブレット | 有 | 無 | 今後導入予定 |
| 4. プロジェクター | 有 | 無 | 今後導入予定 |
| 5. 研修を受講できる場所 | 有 | 無 | 今後導入予定 |

V. リモート研修に関するご意見があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。

施設について

介護老人保健施設	12	24.0%
介護老人福祉施設	30	60.0%
ショートステイ	6	12.0%
その他	2	4.0%

リモート研修への参加意思

参加したい	36	72.0%
参加したいが環境が整わない	10	20.0%
その他	4	8.0%

リモート研修環境について

インターネット環境

あり	49	98.0%
なし	1	2.0%
今後導入予定	0	0.0%

Wi-Fi環境

あり	42	84.0%
なし	4	8.0%
今後導入予定	4	8.0%

パソコン・タブレット

あり	48	96.0%
なし	1	2.0%
今後導入予定	1	2.0%

プロジェクター

あり	30	60.0%
なし	20	40.0%
今後導入予定	0	0.0%

研修を受講できる場所

あり	47	94.0%
なし	3	6.0%
今後導入予定	0	0.0%

